

常任委員会 特別委員会



一般廃棄物最終処分場の現地視察

総務文教常任委員会

第6回（11月7日）

- ・町内視察結果について
- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ・特別職の職員の特給に関する条例の一部改正について
- ・職員の給与に関する条例の一部改正について



相生コミュニティ施設の現地視察

第7回（12月5日）

- ・職員等の旅費に関する条例の一部改正について
- ・職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ・恵和福祉会特別養護老人ホームいちいの園等への支援について

産業福祉常任委員会

第6回（11月7日）

- ・町税条例の一部改正について
- ・本岐体育館条例の制定について
- ・本岐体育館条例施行規則の制定について
- ・使用料条例の一部改正について
- ・要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する要綱の一部改正について



建設中の西町団地現地視察

第7回（12月6日）

- ・国民健康保険税条例の一部改正について
- ・町道の認定について
- ・町営住宅の設置及び管理に

議会運営委員会

第7回（11月21日）

- ・第6回津別町議会臨時会の運営について
- ・平成27年度各会計決算の認定について

第8回（12月14日）

- ・第7回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

議会広報特別委員会

第20回（1月18日）

- ・議会報162号の編集について

町長行政報告

報告された事項

第6回臨時会 （11月24日）

- 道道届斜路津別線土砂崩れ箇所早期復旧要望
- 国土交通省第28回住生活月間功労者表彰
- 第27回東京つべつ会総会
- 交通安全事故
- 地方創生事業関連
- 北海道国民健康保険団体連合会表彰
- 津別町史平成版の発刊

第7回定例会 （12月20日）

- 善行表彰
- まちづくり懇談会
- 役場庁舎建設に係る要望書の提出
- オホーツク圏活性化期成会によるJR問題に係る意見交換会
- 道道届斜路津別線土砂崩れ箇所の早期復旧要望
- 寄贈建設工事等の発注状況

議会の録画を配信しています

インターネットを利用した定例会の録画配信を行っています。町のホームページにアクセスしてご覧ください。

<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>
「議会インターネット中継」をクリック。

議会日誌

10月

- 17日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟役員会(北見市)
- 19日 オホーツク圏活性化期成会秋季要望(札幌市)
- 20日 北網ブロック町議会議員研修会(美幌町)
- 23日 東京つべつ会総会(東京都)
- 28日 第2回決算審査特別委員会
第5回全員協議会
- 31日 美幌町議会総務文教厚生常任委員会視察来町

11月

- 2日 議会報告会(津別町)
- 4日 北網ブロック市・町議会正副議長会議(置戸町)
- 7日 第6回総務文教常任委員会
第6回産業福祉常任委員会
- 9日 町村議会議長全国大会(東京都)
- 10~13日 北網ブロック町議会議長会府県委託調査(富山県、長野県、岐阜県、愛知県)
- 21日 第7回議会運営委員会
- 24日 第6回津別町議会臨時会
- 28日 オホーツク町村議会議長会役員会(遠軽町)

12月

- 5日 第7回総務文教常任委員会
- 6日 第7回産業福祉常任委員会
- 14日 第8回議会運営委員会
- 20~21日 第7回津別町議会定例会
- 21日 第6回全員協議会

1月

- 18日 第20回議会広報特別委員会

意見書

関係行政庁へ
提出しました

■大雨災害に関する意見書

【要旨】

北海道では本年8月、台風7、11、9号が相次いで上陸し、さらに台風10号の影響による集中豪雨に伴う河川の氾濫などにより、住宅や農地への浸水被害及び道路・鉄道の決壊や土砂災害が発生したところである。また、定置網・養殖施設被害など水産被害も大きなものがある。

このように全道各地で甚大な被害が発生し、住民のくらしや経済活動に多大な影響が生じている。

こうしたことから、住民が一日も早く、安心してもとの生活を取り戻すことができるよう早急な災害対策と今後の防災対策が必要とされている。

については、この度の災害からの迅速な復旧と今後の防災対策に向け、要望する。

■J R北海道への経営支援を求める意見書

【要旨】

11月18日、J R北海道は、現在の営業路線のおよそ半分となる10路線13線区を単独では維持が困難であると発表した。

この路線のいずれかが廃止となれば、その地域の過疎化が促進され、地域の経済や住民のくらしを破壊することになる。公共交通機関としての役割を放棄するものであるといわざるをえない。

J R北海道は発足当初から、国の経営安定化基金により経営を維持しており、積雪寒冷地という気象条件もかさなり、設備の維持管理には多額の費用が必要である。

よって、国においては、地域住民の日常生活に必要な移動手段である鉄道を北海道において公共交通機関としての役割を発揮できるように、J R北海道の経営が自立できるよう財政支援等を図るよう強く要望する。

■地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

は ぐ る ま

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年の漢字一文字は「金」でしたが、私が昨年一年を表す漢字として「驚」を挙げたいと思います。一つ目は、8月中旬から4つの台風が相次いで道内に深い爪痕を残しました。二つ目は、北海道日本ハムファイターズが首位に最大11.5ゲーム差から15連勝などの猛迫で大逆転し4年ぶりの優勝を果たし、日本シリーズも勝ちました。三つ目は、2月に執行される町議会選挙に三人の現職が勇退されることです。前回の選挙が無競争だったことから議会改革推進会議を立ち上げ自主研修をはじめ、議会改革フォーラムの開催、町民の方々の声を聞く取り組みとして自治会連合会や町内の青年団体層との意見交換、筑波大生との懇談会を開催、議会本会議の映像配信、議会報告会も二度開催したところです。議会の活性化を通じて、若い世代が町議を目指してもらえたらと願っています。

(鹿中)